

脂質異常症病診連携講演会

2018年 2月19日(月) 19:00～20:30

翠香園ホテル 3F 松林の間

謹啓 時下、先生方におかれましては益々のご清祥の事とお慶び申し上げます。

さて、動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017では冠動脈疾患が主たるターゲットとなり一次予防患者では吹田スコアに基づき脂質の管理目標値が設定され、二次予防患者ではより厳格な管理が必要な患者病態とその管理目標値が設定されました。

しかし厳格なLDL-C低下療法による多くのエビデンスがあるものの、実際の臨床現場でのLDL-C低下療法に対する認識は低く、このため十分な管理がなされていない現状があります。

今回は脂質異常症の治療に造詣が深い小松市民病院の東方 利徳医師をお迎えし脂質異常症の基本からその管理の重要性までわかりやすく解説していただける機会を得ましたので、是非多くの先生方にお集まりいただき知識の共有をしたいと思います。 謹白

新古賀病院 川崎 友裕

【座長】 新古賀病院 心臓血管センター

センター長 川崎 友裕 先生

基調講演 19:00～19:30

「LDLアフェレシス 中断後に急速に冠動脈狭窄が進行した
ホモ接合体家族性高コレステロール血症の1例」

【演者】 新古賀病院 循環器内科

部長 古賀 久士 先生

特別講演 19:30～20:30

「病診連携に役立つ脂質異常症のはなし」

【演者】 小松市民病院 循環器内科

内科担当部長 東方 利徳 先生

当日は懇親の場を用意いたしております

共催: アステラス・アムジェンバイオフーマ/アステラス製薬

後援: 新古賀病院